



大甲区公所との合同慰霊祭のようす(同区郊外の鉄砧山中腹)

## 異国の地で「聖人」の偉大さを知る

志賀哲太郎先生顕彰会が台湾を訪問

2月26日からの4日間、志賀哲太郎先生顕彰会(松野國策会長)のメンバーが、同氏(田原出身)の墓参りと事績調査のため、台湾台中市大甲区を訪問しました。

区役所で盛大な歓迎を受けた一行は、「大甲の聖人」と敬愛される同氏の業績啓発ビデオの鑑賞やゆかりの地訪問などで、その偉大さと台湾の人々の思いの深さを知らされ、大きな驚きと感謝に包まれました。また、合同墓前祭を行い、山腹に祀られた墓と顕彰碑に、持参した潮井水源の水や花などをお供えしました。

## 山火事発生！ 救助者をヘリで搬送

益城西原消防署などが消防訓練を実施

春の火災予防週間が始まった3月1日、益城西原消防署および県防災消防航空隊、砥川消防団、県総合射撃場が連携し、同射撃場内で消防訓練を実施しました。

訓練は、倉庫から出た火が山林に延焼、住民1人が熱傷で救助を求めているとの想定で行われました。通報で駆けつけた消防署員らが、素早い連携動作でホースを連結し現場の消火にあたり、間もなく到着した航空隊のヘリコプターが上空でホバリング。救急隊から救助者を的確に引き継ぎ、収容搬送しました。



住民に見立てた人形を救助し収容する隊員たち



音声訳ボランティアの話に真剣な表情で聴き入る児童たち

## 伝えることの難しさや大切さを学ぶ

益城中央小児童が点字・音声訳を通して交流

益城中央小の3年生77人が2月19日と25日、総合的な学習の時間で点字訳と音声訳を学びました。

テーマは、「“みんなに優しい町づくり”のために何ができるか」。児童たちは、視覚障がいのある人との交流会に備え、ボランティアの協力で点字の打ち方や読み聞かせ方を学び、白杖など調べた題材についてどう伝えたらいいか探究しました。3月3日の交流会では、打った点字を読んでもらい、授業で教わった速さや間に気を付けながら丁寧に話し伝えていました。

Best Smile  
今月のベスト笑顔

